
魔法少女リリカルなのは 咲亜の妄想物語

咲亜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは 咲亜の妄想物語

【Nコード】

N3598Y

【作者名】

咲亜

【あらすじ】

少し変な少年が魔法少女リリカルなのはの世界へ転生です
最強チートとかにはせずそこそこにしようと思ってます。

あと処女作なので文法や誤字、そのたもろあるかもしれませんが許してくれるとうれしいです

原作ブレイクするかもしれませんが、しないかもしれません。

ハーレムにはしません！！それは規定事項です

ブログかな？（前書き）

初めて投稿したので

批判があったらどうしようとか1日たってもだれもみてくれてなかったらどうしよう

とかマイナス思考がはたらいてしまったのです・

とても心配なのです

でも頑張って妄想して私の物語を作っていきたいのです

でわ始めます

（日本語おかしかったらしゅみません…すいませんかみました）

プロローグかな？

目が覚めるとそこは真つ白な世界だった。

ここはどこだ、なぜこんなところにいるんだ…

「あつ、気がつきましたか？」

目の前にいきなり女の人が出てきて話しかけてきた。
とりあえずこの人に聞いてみるか

「あの、あなたはだれですか？ここはどこなんですか？
俺はなんでここにいますか？」

一片に質問してしまったが仕方ない

だつて気になるし

「えつとですね、私の名前はクランといいます。ここは天界と呼ばれる世界です。

そして、なぜあなたがここにいるかというと、貴方が死んでしまったからです。」

あ、俺やっぱり死んだのか、でもここに俺がいるということは
今流行りの間違つて殺してしまつてその罪滅しで転生つてやつなの
か…？

「あのさ、もしかして間違つて殺してしまつたとかで
俺転生したりするの？」

「えっ！？ どうして分かったんですか？ 半分あたりです
まず貴方が死んでしまったのは誰かが間違つて殺してしまったの
ではなく、

寿命で死にました。そしてあなたには転生してもらいます。」

ふむふむ…なるほど、まあ転生できるなら死んだ理由なんてどうで
もいいや

でもなんで俺転生できるんだろ

「なんで俺転生できるの？ もしかしてクジであたったとかそんな
かんじ？」

「いえ、それはですね 周りの人？（天使？）たちが人間を転生さ
せてるのを見て

私もしてみよっかなと思っただんです、そしてそのあとあなたの世
界を観察する仕事をして、たまたま貴方が目についたので貴方に
しました。」

俺ラッキーじゃん！

「それと転生するときに特典をいくつかあげようと思つのですが希
望はありますか？」

「うん まず転生する世界によっていろいろ変わるんだけど、

俺どこの世界に転生するの？ もしかして選べたりする？」

「転生する世界は選べないです。」

転生する世界は選べないのか…

ならこの世界でも生き残れる力と…あれだな

「えっと特典の希望言っていていい？」

「はい」

「えっとまず、どの世界でも生き残れる力と

数分後

「では、新しい人生がんばってください」

その声が聞こえた瞬間意識が遠くなった

ブログかな？（後書き）

短いです はい・・・

やっぱり書くのって難しいですね

第1妄想かな〜（前書き）

文字打つのきついです><

誤字や文法おかしかったら指摘お願いします><

一人でも多くの人に見てもらえたら嬉しいな〜

原作始まるまでもうすこしです

第1妄想かな

なんとリリカルなのは世界らしいです
そして、なんと0才からのスタートでした

僕の名前は半沢はんざわ一姫いつきです

僕って言うてるからわかるかもしれませんが
僕は男です。なのに名前が女の子っぽいです
なぜそうなったのかというと親が女の子みたいに
育てて欲しいというなんともありえない希望を込めて
一姫という名前になりました。

そのせいで親には一人称を私に強制され
現在3歳の時点で女の子にしか見えないです。
まあ容姿は転生するとき克蘭に特典で
お願いしたからなんですが、なんともまあ
親がご都合主義なのかと…
それはいいとして

今僕は克蘭にもらった能力がどんなのか確認するために神社にい
ます

やっと確認出来る日がきました
この3年間とてもながかったです

「さて、確認しますか」

………もらった能力ってどうやって確認するの？
………どうしよう

（お久しぶりです。どうやらお困りのようですね。）

あ、この声克蘭だ

「あのさ克蘭、僕のもらった能力ってどんなの？」

（実はまだどんな能力あげればいいのかわからなくて迷ってるどころなんです）

「能力って転生した時にきまつてなかったの？」

まだ決まつてないってことなら今決めてもいいかな？？」

（あつ、私も迷つてたので貴方が決めてくれると助かります）

「うん、ならまずエクスカリバーを出したり消せたりする能力と身体能力と魔力とかステータスを下、中、上の上のなかでランダムにしてくれる？」

（エクスカリバーを出したり消したりする能力ってエクスカリバーのみでいいんですか？

あと私が気にするのも変ですが、ステータスマAXでなくていいのですか？）

「うん両方ともそれでいいよ。だってステータスマAXとかそんなチートいやだもん

自分で強くなる方が楽しそうだしね。」

（わかりました） では2つの能力をあなたに与えます。 えいつ

！！

終わりました）

はやっ！　じゃあこのあと確認してしばらく修業かな

「能力くれてありがとね。」

（いえいえ、ほかに能力がほしくなったらいつでも呼んでください。

すぐにあげますから。では失礼します）

よしまずはエクスカリバーかな

あ、どうすればエクスカリバー出せるか聞いてないや・・・

念じたらでたりするのかな

来い！エクスカリバー！！

エクスカリバーを呼んだ瞬間僕の手にはエクスカリバーが握られていた

さてエクスカリバーも出せることが分かったし、今日は家に帰って今後どんな修行するかきめないとね

「お母さん、ただいまー」

「一姫ちゃん、おかえりなさい　はやく手を洗ってきなさい晩ご飯できてるわよ」

「はい」

手を洗ってそのあと晩ご飯食べました。

そのあとお風呂入って自分の部屋にいます

これからどうしようかな

エクスカリバーをうまく使えるようになりたいし

魔力もそこそこあるはずだから魔法も使いたいし

はあ・・・これから大変だなあ・・・

「もう寝ようかな」

第1妄想かな〜（後書き）

頑張って1日1話以上目指します

でもほかの作者さんにくらべて

短いんです・・・どうすればあんなにながくかけるんだろう・・・

次回もよろしくお願いします 次は設定話になりそうです

設定ぱくと1 (前書き)

今回は主人公の設定です

設定ぱくと1

名前：半沢一姫

読み方：はんざわいつき

性別：女の子・・・いえ男の娘です

容姿：主人公のモデル？の人が希望してた見た目はなんかあれだったの

男の娘ということなので、このキーワードで一番最初に出てきたキャラが

乙女は処女に恋してる？にでてくる宮小路瑞穂にしました。

髪は腰辺りまで伸びており、ストレートの金髪？ブラウン？

みたいな色で2本のアホ毛が

あります。瞳の色はワインレッドっていうのかな？そんなかんじです

年齢：現在3才

身長：細かくは決めてないが同年齢よりも小さい

体重：上に同じ・・・

能力

・エクスカリバー召喚

魔力：SSランク　はやてよりすこし多い

このくらい・・・

ほかの作者さんの小説の設定ってびっしりあるのに・・・

ぜんぜん書く事ないです　はう・・・

設定ばくと1(後書き)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3598y/>

魔法少女リリカルなのは 咲亜の妄想物語

2011年11月9日00時12分発行